



かおり通信

9月号
NO.6

学校教育目標……『自分らしさを大切に、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

めざす学校像…『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が

専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 校長 松永 忠弘

令和5年9月6日

「切磋琢磨(せつさたくま)」

～世界で一番かたいものはなんでしょう？

夏休み明け朝会（オンライン）で、学校長の話として、子どもたちにこんな話をしました。

「クイズです。世界で一番硬いものは何でしょうか。それは、ダイヤモンドです。私は、夏休みに河口湖のほとりにある『宝石博物館』というところに行ってきました。そこには、たくさんの宝石の原石が展示されていました。ダイヤモンドもありました。

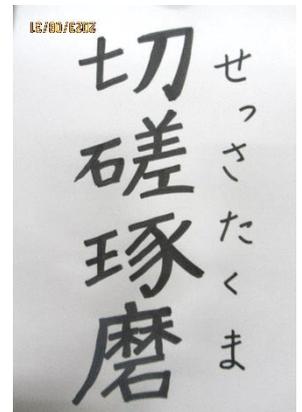
ダイヤモンドは、掘り出した原石のままでも美しいのですが、宝石にするためにはさらに美しくする必要があります。でも、ダイヤモンドは世界で一番硬いはず。どうやって磨くのでしょうか。

答えは、ダイヤモンド同士を合わせて磨くのです。職人さんは、ダイヤモンドの粒子（つぶ）を使って、ダイヤモンドを磨きます。そうやって、あの美しいダイヤモンドの輝きが生まれるのです。

みなさんは、ダイヤモンドの原石です。一人一人が世界で一番素晴らしい輝きをもっています。その輝きをもっと輝かせるためには、夏休みにしたように、自分で努力したり挑戦したりして自分を磨くことも大切です。

そして、もう一つ。友だちと互いに励まし合い、学び合い、競い合って、ともに成長することも自分を磨くことになります。

これを、漢字4文字、4文字熟語で『切磋琢磨』と言います。前期後半も切磋琢磨しあって自分を輝かせましょう。」（参考引用文献 Toss 横浜「語り111」）



まだまだ、暑い日が続きます。

ニュースで知っている人もいるかもしれませんが、部活帰りの下校途中の中学生と、体育の時間に運動をした後教室に戻る途中の小学生が具合が悪くなり亡くなってしまったというとても悲しい事故がありました。熱中症だと言われています。

体育の時間も休み時間も、決して無理をしないでください。次の3つに気をつけましょう。

- 1 のどが渇く前に水分補給、ちょこちょこ飲み
- 2 休憩を必ずとる
- 3 頭が痛くなったり気持ち悪くなったりしたら、すぐ友だちや先生に言う

それから、学校では熱中症指数を毎日計っています。注意が必要な時、運動をしてはいけない時は、放送で知らせますので、よく聞いて先生たちの指示に従ってください。」

「香川の桜」が開催されました！

～学校運営協議会主催イベント～

香川小学校は、令和4年度より「コミュニティ・スクール」に指定されています。「コミュニティ・スクール」とは、保護者・地域の皆さまの代表で組織された学校運営協議会の委員の皆さまと「熟議」（熟考と議論を重ねながら課題解決を目指す対話）をしながら、学校経営目標を踏まえて上で、子どもたち、家庭、地域、教職員にとって望ましい学校を創っていく学校のことです。

8月29日（火）、学校運営協議会主催のイベント「香川の桜」が開催されました。このイベントは、「香川小学校って楽しい！」ということをもっともっと発信するために、学校運営協議会の企画・運営で実施されたものです。今回は、初めての取り組みなので学年を限定し（4年生）、参加を募っての開催となりました。



体育館で、戦争についてのお話を聞いた（三橋卯之助さんという方が描いた茅ヶ崎の歴史に関する絵を語り継ぐ活動をしていらっしゃる浜須賀小学校のパパボラの皆さまにご協力いただきました）後、4～5人のグループごとに暗くなった学校の探検にスタートしました。理科室や図書室、音楽室などのチェックポイントで、ろうそくに火を灯し、戦争についての少女からのビデオメッセージを聞きながらゴールを目指すというものです。



このイベントには、様々な内容が盛り込まれています。「戦争について知るとともに、未来を自分たちの手で創っていく大切さに気付くということ」「暗くなった学校を探検するワクワク感」「グループの友だちと、歩くルートを考え課題を解決していくこと」「学校って楽しい、友達に早く会いたいという気持ちにもっともとなること」……。

子どもたちは、真っ暗な学校をドキドキしながら友だちとルートを相談しながら歩いたり、チェックポイントで戦争の話に聞き入ったり……夏休みの貴重な体験になりました。子どもたちの感想をご紹介します。

「初めての夜の学校は、静かでちょっと怖かったです。」「学校を探検する機会なんかめったになくて特別な感じがした。」「夜の学校は、ハラハラドキドキでこわかったけどすごく楽しかったです。」「一人で行ったらぜったいこわかったけど、みんなと協力して行ったからこわくなかった。」「最初はこわいと思ったけど、やっぱり楽しかった。戦争のことも学べたから、学べて楽しいと思いました。」「みすずさん（戦争のお話をしてくれた少女）に会って、また話を聞きたいです。」「お父さんが無事に帰って来られるのを、みすずさんは願っていると思う。」「……」

開催にあたって、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。